

# パワー全開！快進撃を続けるCMSC。

## ●今シーズン主だった入賞

- 4/17 B地区(東北)選手権第1戦 トライアルin岩手  
優勝 金田 至(CMSC山形)  
2位 鈴木功敏(CMSC福島)
- 4/17 G地区(四国)選手権第2戦 '88アタック・ザ・ダート  
優勝 白井 修(CMSC香川)
- 4/24 C地区(関東)選手権第3選 TWSダート・トライアル  
優勝 荒井信介(CMSC群馬)
- 5/5 B地区(東北)選手権第2戦 北斗ダート・トライアル  
優勝 金田 至(CMSC山形)  
2位 鈴木功敏(CMSC福島)

「88年はCMSCにとって飛躍の年」という外川会長の年頭あいさつの言葉どおりに、今シーズンは各地でクラブ員の活躍が目立っている。中でも好調なのがギャランVR-4が出走するダートトライアルのA-IIクラス。今号のトップで紹介したJMSシリーズ戦での荒井選手の活躍の他、B(東北)地区選手権第1・2戦での金田選手(山形)鈴木選手(福島)の2戦連続1、2位独占、四国で行なわれたG地区選手権第2戦で

の白井選手(香川)の優勝など、各地区大会でも優勝を始め上位入賞といった好成績が目白押し。ハイパワー車とそれを見事にコントロールするクラブ員のテクニックが一体になっての結果だが、各地でCMSC台風は衰えることを知らない勢いだ。また同時にクラブ主催のイベントもますます盛況。シーズン後半も各地でCMSC主催のダートトライアルが予定されており、会員の活躍が期待されている。

8	21	島根	●'88CMSC島根ダートトライアル(日本海チャンピオンシリーズ第6戦)
	21	帯広	●第4回AMC杯CMSCダートトライアル
9	11	岩手	●岩手三菱ダイヤモンドトライアル(県シリーズ第6戦)
	25	香川	●'88CMSCダイヤスタートトライアル
10	30	帯広	●CMSC帯広ダートトライアル

## CMSC山形・金田選手、地元の期待に応え見事優勝。

### CMSC山形 4月10日 '88CMSC山形ダートトライアル

CMSC山形主催のダートトライアル山形県シリーズ第1戦が、4月10日東根特設コースにて開催され、好天の中、140名のエントリーを集める大盛況ぶりであった。当日はCMSC本部より外川会長と木全氏にかけつけていただき、テクニックからマナーにいたるまで心温まるアドバイスをいただいた。

コースはハイテクニックとハイスピードを兼ね合わせた、まるで1000湖ラリーのスペシャルステージを思わせるようなコース設定。注目のAIIクラスでは優勝候補筆頭の名田選手がニューマシンのギャランVR-4のポテンシャルを見事に引き出し期待に応え優勝。2位にもVR-4が入り、その性能の高さを明らかにした。CMSC山形・小川会長の「ともかく安全なコース設定の中でのアクセル全開を楽しんでもらえたら」の思いが通じた競技会であった。

(CMSC山形 蜂谷重則)



AII優勝の名田選手、総合でも1位



三菱賞に輝く名田選手(左端)



CMSCを代表して挨拶する外川一雄会長



本部より応援の木全氏

## 総数129台エントリーを集め盛大に開催。

### CMSC群馬 5月8日 '88CMSCトライアルin群馬

群馬ダートトライアルシリーズ第3戦として5月8日に関東スポーツランドで行なわれた今イベントには、群馬県内だけでなく近県からも多数のエントリーがあり、参加台数は前年を40台以上も上回る129台と盛大な大会となりました。コース状態は前日までの雨による水たまりが残るウェットでスタート。2本目には一部ウェットが残るものの多少ほこりのでるドライな路面となり、今回初めての試みとしてつくった「中間ベストラップ賞」を目指して、参加者はアクセル全開の走りを満喫していました。三菱車のエントリーはVR-4が3台、ランサー1台の計4台。結果は、屋敷紀子選手がレディスクラス5位、番田高明選手がAIIクラス5位、久野幸也選手がCII&Dクラス3位に入賞。CMSC群馬主催のイベントも終り、各自の目標に向け頑張りたいと思っています。

(CMSC群馬 高橋壮吉)



CII&Dクラス3位の久野選手



三菱賞2位の高田選手



三菱賞の左より高田、久野、屋敷の各選手



レディス部門5位屋敷選手

# CMSC札幌・千田選手ギャランで優勝。吉川選手も3位入賞。

## 北海道チャンピオンラリーシリーズ第4戦

6月12日 エンジョイラリー

ウインターラリーでの3戦を終え、ダートのディラリーで争われたシリーズ第4戦は、ラリーステージ6ヶ所、SS8ヶ所の設定で、6月12日開催された。ラリーステージ3ヶ所終了後のSS1では、千田ギャランがトップタイムをマーク。2番時計に5秒の差をつけ、千田速しを見せつける。中盤に入っても千田選手の好調は続きSS3、SS4、SS5、と連続でト

ップをマークし独走体制。同じくCMSC札幌の吉川ギャランも、SS3、SS4、SS5でスタックをしながらも3番手につける好走を見せた。ハイスピードのSSの中、新人浅沼ギャランもSS1で3番時計を出すなどギャランのハイポテンシャルが評価されたラリーであった。



3位のCMSC札幌・吉川選手



優勝のCMSC札幌・千田選手のギャランVR-4

# 悪コンディションの中、思い思いの走りを満喫。

## CMSC香川 5月22日

'88CMSCアストロトリアル

5月22日香川スポーツランドにて、JMRC四国ダートトリアルシリーズ第4戦、'88CMSCアストロトリアルが行なわれた。当日は、あいにくの雨模様で時折激しく降る中、今シリーズ最多79台の参加があった。そのうち三菱車は10台で、VR-4、ランサーICが各5台ずつであった。コースコンディションは最悪、ヌタヌタ路面の中、各ドライバーは、必死にマシンをコントロールし、タイムを競いあった。A-IIクラスではパワーのギャランVR-4とコントロールのファミリアの対決となり、結果として今回のような路面では、車重の軽いファミリアに分があったようで、VR-4は田中和男選手が3位に、東谷勉選手が6位に入るにとどまった。またC-IIクラスに参加した2台のランサーICは、今回の路面ではそのパワーを生かし切れず、コントロールに苦しんでいた。



パドックで2走目を待つ参加車輛

四国では、今シーズンより主催クラブ員の参加が許され、CMSC香川より参加した高竹優之選手、小野隆徳選手、土岐孝司選手はギャランVR-4でA-IIクラスでそれぞれ8位、15位、17位と、もう一步の成績でしたが、思い思いの走りを満喫していました。以上のように戦績は、あまり芳しいものではありませんでしたが、例年に比べ三菱車での参加者が増えたことや、恒例の三菱賞に新顔のギャランVR-4がズラリと顔を出したことを考え合わせると、今後のそして来年の活躍が期待されます。

(CMSC香川 平尾高正)



雨天候に悩まされた香川スポーツランド



CMSC香川・小野隆徳選手の走り

# アドバンチームの山内伸弥選手を迎えなごやかに開催。

## CMSC栃木 6月5日

'88スリーダイヤモンドトリアル

'88年6月5日、日光スピードパークに於て、CMSC栃木主催の'88スリーダイヤモンド・トリアルが行なわれた。

今年は、特別ゲストに山内選手を迎えることができ、参加者には、大きなプレゼントになった。さて、競技は、山内選手のエキジビション走行後に行なわれ、1回目トライから熱の入ったものとなった。し

かし、さすがにA I、A IIクラスでは、山内選手のタイムは破れず、改めて、ギャランの速さを認識させられた。A IIIクラスでも山内選手のタイムは破られず、ゼッケン84の萩島選手のギャランがかるうじて山内選手のタイムを破った。

昨年のトリアルでは、悔しい思いをした三菱ファンも、ギャランの登場で非常にうれしく思っていると感じさせるギャランの速さだった。また競技中には、山内選手のサイン会、競技終了後には、同乗走行会と、盛りだくさんのトリアルとなった。

(CMSC栃木 青木)



ドライバーズミーティングでの山内選手



A III優勝の萩島孝選手



同乗走行をする山内伸弥選手



三菱賞の左から萩島、原田、萩島選手



三菱賞2位の原田尚幸選手の走り